

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-3-1	事業名	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業				
担当	教育委員会総務部管理課 扇谷 211-3831						
全体計画							
事業内容	学校の管理下における事件・事故が大きな問題となっている近年の状況を踏まえ、家庭や地域の関係機関・団体と連携しながら学校の安全管理に関する取り組みを充実させるため、教育委員会では平成17年11月から文部科学省による委託を受けて標記事業を実施している。 札幌市では重大事件は発生していないが、児童への不審な声かけなど、犯罪に発展する可能性のある事件は少なからずあることから、警察OB等の防犯の専門家をスクールガードリーダーとして委嘱し、学校の巡回指導を行うとともに、学校単位で防犯ボランティア(スクールガード)を募集・登録し、地域と連携した子どもの取り組み活動を推進する。			<年度別の事業内容>			
				本事業では、年度ごとに以下の取り組みを主として行う。 ・スクールガードリーダーによる学校巡回と防犯体制に関する助言指導 ・スクールガード養成講習会による防犯ボランティアの育成 ・モデル地区の指定と先進的取り組みの検討			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	・スクールガードリーダー39名を委嘱 ・1,791名をスクールガードとして登録 ・スクールガードリーダーの情報交換の場としてスクールガードリーダー連絡会を開催。(5、8、1、3月)・・・会場:教育委員会会議室、WEST19会議室 ・発寒北地区をモデル地区として選定・・・関係機関:発寒小、発寒東小、西区市民部、発寒北まち協議会 ・スクールガード養成講習会の開催(8月に計6回開催、新規スクールガードを対象、参加者合計数207名)・・・会場:南区民センター、西区民センター、交通局(講堂)、社会福祉総合センター、内容:事業概要の説明、警察職員の講話、護身術講座、各回合計で207名が参加 ・モデル地区関係団体との打ち合わせ実施 ・モデル地区における取り組み発表の実施とスクールガードリーダーの活動発表			・スクールガードリーダー45名を委嘱 ・継続及び新規スクールガードの登録 ・スクールガードリーダーの情報交換の場としてスクールガードリーダー連絡会を開催。(5、8、1、3月を予定) ・モデル地区の選定 ・スクールガード養成講習会の開催:7月中旬を予定、計6回開催、新規スクールガードが対象、内容:事業概要の説明、スクールガードリーダーの講話 ・モデル地区関係団体との打ち合わせ実施 ・モデル地区における取り組みの実施 ・HP等での情報提供			
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 ・西区発寒北地区をモデル地区として指定し、学校・スクールガード・スクールガードリーダー・まちづくりセンター・町内会等が連携して子ども達を見守る体制づくりに取り組んだ。 ・スクールガードとして無償ボランティア活動に取り組んでいる。(活動者数は年々増加傾向にある。) 企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] 財)北海道警友会(スクールガードリーダー確保の人材協力)、北海道警察(スクールガード養成講習会における講話) [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	4-3-1	事業名	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業			
評価(成果)			課題			
<p>・スクールガードの登録総数も1,791名と前年度末に比べて約1.3倍に増加し、地域における見守り活動の意識が高まりつつある。</p> <p>・スクールガードリーダーが学校での活動にとどまらず、地域の防犯教室等に講師として呼ばれるなど徐々に地域での認知度が高まりつつある。</p> <p>・モデル地区を指定した取り組みにおいては、従来から地域防犯に携わってきた既存の見守り組織やまちづくりセンターとの連携を図り、地域が一体となって子どもを見守る活動に取り組むことができた。</p>			<p>・学校ごとの取り組み意識の向上を図り、全体としていかに効果的な事業にできるか。</p> <p>・地域において従来から活動をしている団体等と連携し、地域が一体となった活動を目指す。</p>			
今後の事業の予定・方向						
<p>以下の4点を柱とした上で、</p> <p>スクールガードリーダーによる学校巡回と防犯体制に関する助言指導</p> <p>スクールガード養成講習会による防犯ボランティアの育成</p> <p>モデル地区の指定と先進的取り組みに関する検討</p> <p>今後はスクールガード登録者数を全体として増やしていくとともに、登録者が少ない学校の登録者数底上げをはかり、従来から活動しているボランティア団体等も含めて地域とのより一層の連携をはかっていく。また、先進校の取り組みをホームページ等で紹介することで、事業全体の底上げをはかる。</p>						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	22,000	15,159	15,272	14,569	67,000
	財源	22,000	15,159	15,272	14,569	67,000
	内訳	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
予算	事業費	22,000	15,449	-	-	37,449
	財源	22,000	15,449			37,449
	内訳	0	0			0
	一般財源	0	0			0
実績	事業費	13,095	-	-	-	13,095
	財源	13,095				13,095
	内訳	0				0
	一般財源	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				42.6%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]						
[20年度]						